

## 令和6年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

	6年度 A	5年度 B	増△減(A-B)
予算額	1,072,186	1,176,074	△ 103,888

<input type="radio"/>	ブルーライン
<input type="radio"/>	グリーンライン
<input type="radio"/>	共通

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
1 ブルーライン車両 重要部・全般検査用材料調達事業	128,595

## (1) 事業目的・内容)

重要部保全・全般保全及び新重要部保全検査において、車両の安全運行と性能維持のため、定期交換が必要となる部品を購入します。

1 R元年度～R5年度の購入実績単価及び見積を用いて、各種部品の使用予定数量から予算金額を算出しました。

2 R6年度予算事業対象期間: R7年度全期(令和7年4月～令和8年3月)

3 対象編成数: ①重要部保全検査 0編成 ②全般保全検査 5編成 ③新重要部検査 2編成

## 定期検査別材料部品費用

項目	検査別材料費(1編成当たり)		
	①重要部保全	②全般保全	③新重要部
台車部品	0		
空制部品・電動空気圧縮機部品	0		
制御・一般電気部品	0		
戸閉装置部品・車体部品	0		
税抜金額	0	21,194	5,469
税(10%)	0	2,119	546
合計金額	0	23,313	6,015

## 事業費用(税込)

項目	単価	数(編成)	金額
①重要部保全検査用材料	0	0	0
②全般保全検査用材料	23,313	5	116,565
③新重要部検査用材料	6,015	2	12,030
合計金額	—	—	128,595

## 年度別積算金額(税込)

項目	R4年度	R5年度	R6年度
①重要部保全検査用材料	0	0	0
②全般保全検査用材料	89,880	117,315	116,565
③新重要部検査用材料	0	0	12,030
合計金額	89,880	117,315	128,595

## (2) 前年度から変更・見直した点)

検査入場計画に合わせて材料の購入を変更

## (3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令 第87条「施設及び車両の保全」、横浜市高速鉄道車両整備実施基準

## 令和6年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
2 ブルーライン車両 列車検査・月検査用材料調達事業	33,091

## (1 事業目的・内容)

列車検査・月検査において、車両の安全運行と性能維持のため、定期交換が必要となる部品を購入します。

項目	積算金額	
	金額	備考
制御・一電部品		速度発電機部品、遮断器部品等
車体・空調部品		ワイパー、継電器、フィルター類等
空制・台車部品		空制部品等
集電・回転部品		集電靴、軸ブラシ等
税抜金額	30,083	
税(10%)	3,008	
合計金額	33,091	

## (2 前年度から変更・見直した点)

在庫数に合わせて購入数量を調整

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令 第87条「施設及び車両の保全」、横浜市高速鉄道車両整備実施基準

令和6年度 修繕費 事業計画書

<p>予算科目</p>			<p>担当</p>
<p>款: 02 高速鉄道事業費</p>	<p>項: 01 営業費用</p>	<p>目: 30 車両保存費</p>	<p>所属: 車両課(技術)</p>
<p>節・細節: 38 車両修繕費</p>			<p>担当者名: 熊谷</p>

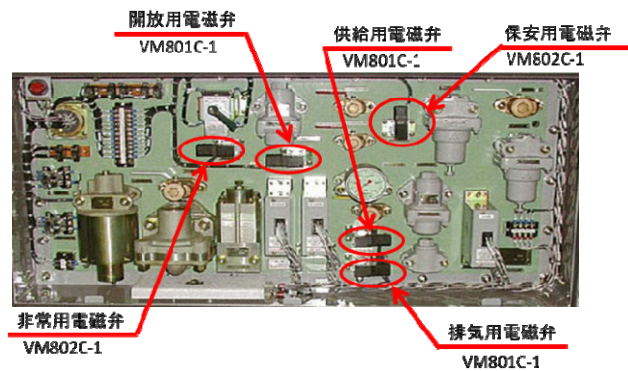
(単位:千円)

<p>【事業内容】</p>	<p>6年度予算額</p>
<p>3 3000S形車両 電磁弁購入事業</p>	

(1 事業目的・内容)

ブレーキ制御装置の電磁弁を購入します。  
 電磁弁は、電磁コイルにより圧縮空気の回路を開閉するもので、常時開(通電時閉)のVM801C-1と常時閉(通電時開)のVM802C-1の2種類あります。常時開(通電時閉)のVM801C-1は、供給試験・排気試験・開放用として、常時閉(通電時開)のVM802C-1は、非常・保安用として、基礎ブレーキ装置の制御を行います。  
 経年と使用により劣化した部品を定期的に交換するため、必要な部品を購入します。

積算金額		R6年度
項目		3編成
VM801C-1	数 (18個/編成)	54
	単価	
	小計	
VM802C-1	数 (12個/編成)	36
	単価	
	小計	
税抜金額		
税(10%)		
合計金額		



(2 前年度から変更・見直した点)

R5年度契約の実績単価により積算

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令 第87条「施設及び車両の保全」、横浜市高速鉄道車両整備実施基準

令和6年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当
款：02 高速鉄道事業費	項：01 営業費用	目：30 車両保存費	所属：車両課(技術)
節・細節：38 車両修繕費			担当者名：熊谷

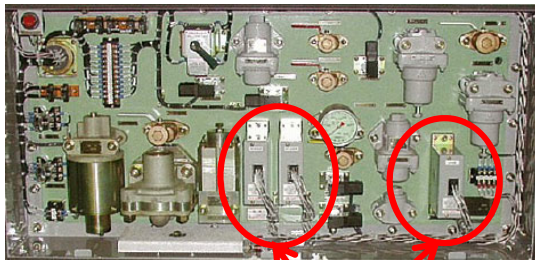
(単位:千円)

【 事業 内 容 】	6年度予算額
4 3000S形車両 ブレーキ装置圧力検出器用圧力センサ購入事業	

(1 事業目的・内容)

基礎ブレーキ装置の圧力検出器用圧力センサを購入します。  
 基礎ブレーキ装置は、圧縮空気によりディスク板をブレーキライニングで挟み摩擦力を利用して減速させる装置です。圧力検出器用圧力センサは、ブレーキ装置の圧縮空気の圧力を検出するセンサです。圧力を電子信号に変換し、ブレーキ装置及びモニタ装置に出力します。  
 経年と使用により劣化した部品を定期的に交換するため、必要な部品を購入します。

項 目	R6年度 3編成
圧力センサ	数 (44個/編成)
	単価
	小計
税抜金額	
税(10%)	
合計金額	



圧力センサ



(2 前年度から変更・見直した点)  
無し

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)  
 鉄道に関する技術上の基準を定める省令 第87条「施設及び車両の保全」、横浜市高速鉄道車両整備実施基準

令和6年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
5 ブルーライン車両 列車無線バッテリー購入事業	

(1 事業目的・内容)

列車無線装置のバッテリーを購入します。  
 列車無線装置は司令所と乗務員空間の通話と非常発報を伝える装置です。バッテリーは停電時や電源切時でも使用することができるようにするためのバックアップ電源となります。  
 経年と使用により劣化した部品を定期的に交換するため、必要な部品を購入します。

積算金額		R6年度 36編成+予備2
列車無線バッテリー	数 (4個/編成)	146
	単価	
	小計	
税抜金額		
税(10%)		
合計金額		



列車無線用バックアップ電源装置

(2 前年度から変更・見直した点)

2年の交換周期に合わせて購入

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令 第87条「施設及び車両の保全」、横浜市高速鉄道車両整備実施基準

令和6年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	6年度予算額
6 ブルーライン車両 ブレーキダイヤフラム購入事業	

(1 事業目的・内容)

基礎ブレーキ装置のブレーキダイヤフラムを購入します。  
 基礎ブレーキ装置は、圧縮空気によりディスク板をブレーキライニングで挟み摩擦力を利用して減速させる装置です。ブレーキダイヤフラムは、圧縮空気によりブレーキライニングをディスク板に押し付けるための部品です。  
 経年と使用により劣化した部品を定期的に交換するため、必要な部品を購入します。

		積算金額	
項 目		NRV形 4編成	A形 1編成
ブレーキダイヤフラム	数 (32個/編成)	128	32
	単価		
	小計		
税抜金額			
税(10%)			
合計金額			



ブレーキダイヤフラム

(2 前年度から変更・見直した点)

入場計画に合わせて数量を減

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令 第87条「施設及び車両の保全」、横浜市高速鉄道車両整備実施基準

令和6年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

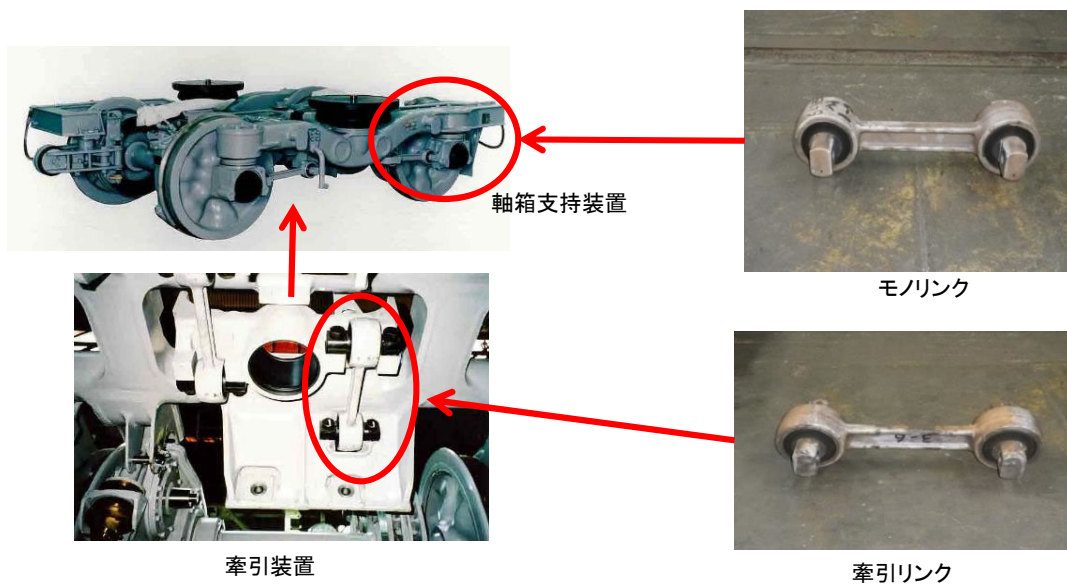
【 事業 内 容 】	6年度予算額
7 3000N・R・V形車両軸箱支持装置等部品購入事業	

(1 事業目的・内容)

軸箱支持装置と牽引装置のゴムブッシュを購入します。  
 軸箱支持装置は車軸を支える装置です。弾性と減衰作用を持たせるため、リンクの接続部にゴムブッシュを使用しています。  
 牽引装置は、台車枠と車体間の駆動力及び制動力を伝達する装置です。  
 ゴム製品は8年から10年で劣化するため、ゴムブッシュの交換を定期的に行います。

積算金額

項目	単価	数量	金額(千円)
モノリンク用ゴムブッシュ	96個/編成	5編成分	480
牽引リンク用ゴムブッシュ	48個/編成		240
税抜金額			
消費税(10%)			
合計金額			



(2 前年度から変更・見直した点)  
 入場計画に合わせて数量を減

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)  
 鉄道に関する技術上の基準を定める省令 第87条「施設及び車両の保全」、横浜市高速鉄道車両整備実施基準

令和6年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

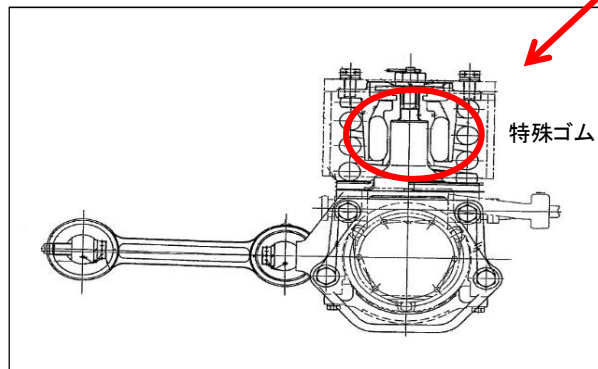
(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
8 3000NR形車両 軸箱支持装置特殊ゴム購入事業	

(1 事業目的・内容)

軸箱指示装置の特殊ゴムを購入します。  
 軸箱支持装置は車両の車軸を保持し、走行による車軸の上下動と車両の揺れを吸収する装置です。  
 経年と使用により劣化した部品を定期的に交換するため、必要な部品を購入をします。

積算金額		R6年度 1編成
項目	数 (48個/編成) 単価	48
特殊ゴム		
税抜金額		
税(10%)		
合計金額		



(2 前年度から変更・見直した点)  
 入場計画に合わせて実施

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)  
 鉄道に関する技術上の基準を定める省令 第87条「施設及び車両の保全」、横浜市高速鉄道車両整備実施基準



令和6年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【 事業 内 容 】	6年度予算額
9 3000形車両 軸バネ購入事業	

(1 事業目的・内容)

軸箱指示装置の軸バネを購入します。  
 軸箱支持装置は車両の車軸を保持し、走行による車軸の上下動と車両の揺れを吸収する装置です。  
 経年と使用により劣化した部品を定期的に交換するため、必要な部品を購入します。

		積算金額	
項目	個数	単価	小計
軸バネ(エリゴ)	48		
軸バネ	48		
小計			
税(10%)			
合計金額			



軸バネ(エリゴ)

(2 前年度から変更・見直した点)  
 入場計画に合わせて実施

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)  
 鉄道に関する技術上の基準を定める省令 第87条「施設及び車両の保全」、横浜市高速鉄道車両整備実施基準

令和6年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

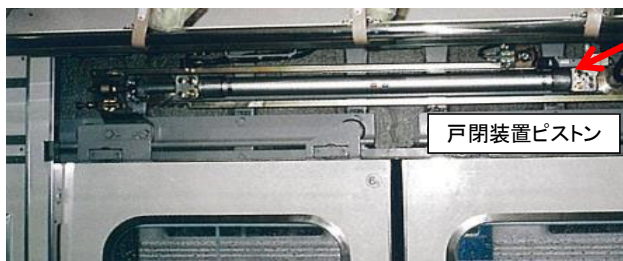
(単位:千円)

【 事業 内 容 】	6年度予算額
10 3000R形車両 戸閉装置ピストン購入事業	

(1 事業目的・内容)

戸閉装置のピストンを購入します。  
 戸閉装置は、車両ドアの開閉を行う装置です。ピストンは圧縮空気により動作しドアの開閉を行います。  
 経年と使用により劣化した部品を定期的に交換するため、必要な部品を購入します。

積算金額		R6年度 2編成
ピストン	数 (36個/編成)	72
	単価	
税抜金額		
税(10%)		
合計金額		



車両ドア

(2 前年度から変更・見直した点)  
 入場計画に合わせて実施

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令 第87条「施設及び車両の保全」、横浜市高速鉄道車両整備実施基準

令和6年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	6年度予算額
11 3000NRV形車両 基礎ブレーキ装置戻しバネ購入事業	

(1 事業目的・内容)

基礎ブレーキ装置の戻しバネを購入します。  
 基礎ブレーキ装置は、圧縮空気によりディスク板をブレーキライニングで挟み摩擦力を利用して減速させる装置です。戻しバネは、ブレーキを緩めた時にブレーキライニングをディスク板から離すための部品です。  
 経年と使用により劣化した部品を定期的に交換するため、必要な部品を購入します。

積算金額		R6年度 2編成
項 目	数 (32個/編成)	64
戻しバネ	単価	
税抜金額		
税(10%)		
合計金額		



戻しバネ



基礎ブレーキ装置

(2 前年度から変更・見直した点)  
 入場計画に合わせて実施

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)  
 鉄道に関する技術上の基準を定める省令 第87条「施設及び車両の保全」、横浜市高速鉄道車両整備実施基準

令和6年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

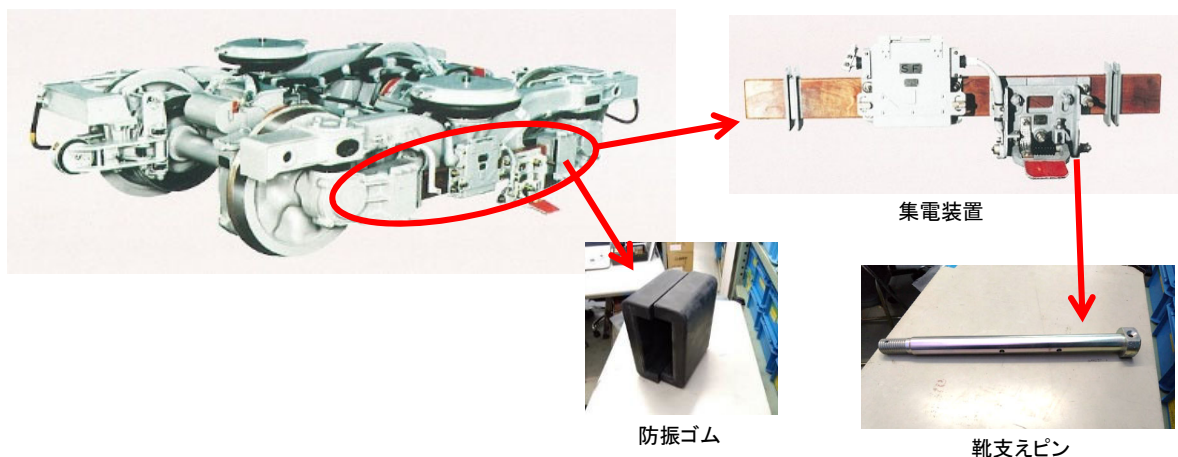
(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	6年度予算額
12 ブルーライン車両集電装置部品購入事業	

(1 事業目的・内容)

集電装置の防振ゴムと靴支えピンを購入します。  
 集電装置は、車両が必要な電力を第三軌条から得るための装置です。  
 経年と使用により劣化した部品を定期的に交換するため、必要な部品を購入します。

積算金額			
項目	個数	単価	小計
防振ゴム	192		
靴支えピン	72		
小計			
税(10%)			
合計金額			



(2 前年度から変更・見直した点)  
 入場計画に合わせて実施

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令 第87条「施設及び車両の保全」、横浜市高速鉄道車両整備実施基準

令和6年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【 事業 内 容 】	6年度予算額
13 3000N形車両速度発電機購入事業	

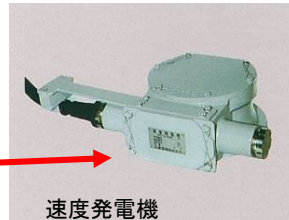
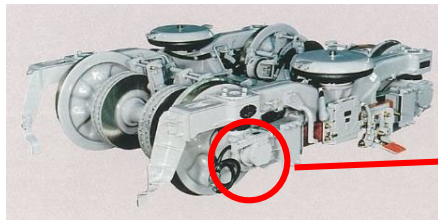
(1 事業目的・内容)

速度発電機は、両先頭車の左右車軸端に取付けられており、誘導子と固定子を備えた誘導子形速度発電機で、車軸に合わせて誘導子が回転し、固定子との間に速度と比例した交流電圧を発生させATC装置、モニタ装置、速度指示計等に出力し速度、距離情報として使用する装置です。

現在3000N形に搭載されている速度発電機は、竣工から24年が経過しています。

過去に速度発電機の経年劣化に起因する故障が発生していることや故障時に修理対応が不可能であることから、車両の安全運行確保と性能維持のため、速度発電機を購入します。

品名	1編成当りの使用個数	N形6編成分使用個数	単価(千円)	合計(千円)
MS-S180R形速度発電機	2	12		
MS-S180L形速度発電機	3	18		
			税抜き合計(千円)	
			消費税10%(千円)	
			税込み合計(千円)	



(2 前年度から変更・見直した点)

交換計画に合わせて実施

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令 第87条「施設及び車両の保全」、横浜市高速鉄道車両整備実施基準

## 令和6年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
14 4000形車両全般保全検査対応予備部品購入事業	

## (1 事業目的・内容)

ブルーライン車両の全般保全検査は、車両が工場へ入場してから、車両の分解、部品単体整備・検査、組成、総合検査を行い、試運転を実施し出場させるまでの期間として、稼働28日間前後で行っております。  
一部の部品については、その期間内では、単体の整備・検査が日程上、期間内に完了できないものがあり、事前に整備した予備部品を準備し対応しています。  
ブルーライン4000形車両については、営業線投入後の初めての全般保全検査が令和7年度に計画されており、それらに向けて、令和6年度に予備の部品を購入します。

No.	機器名	数量	単価(千円)	小計(千円)	備考
1	FDA70応荷重弁	4			
2	FDA100応荷重弁	2			
3	Y切換弁	12			
4	M-60給気弁	12			
5	3/4逆止弁	6			
6	圧力計 75×1000双針圧力計	6			
7	S39-H気圧スイッチ	1			
8	D4S連動ドレン弁	2			
9	AD7F除湿装置	2			
10	VM-25電磁弁(VM25-1C)	2			
11	VM-25電磁弁(VM25-1)	2			
12	安全弁(低圧、甲)	2			
13	安全弁(高圧、乙)	2			
14	電動空気圧縮機(C2000LB)	2			
15	LV-3自動高さ調整弁	24			
16	差圧弁	12			
17	Y4-2Bドアエンジン	36			
18	XVA-2-CKV2-W ドア電磁弁	36			
19	集電装置	12			R6年度契約、R7年度納品

R6年度 (No.1~No.18)	税抜き合計(千円)	
	消費税10%(千円)	
	税込み合計(千円)	
R7年度 (No.19)	税抜き合計(千円)	
	消費税10%(千円)	
	税込み合計(千円)	

(2 前年度から変更・見直した点)  
新規事業

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令 第87条「施設及び車両の保全」、横浜市高速鉄道車両整備実施基準

## (4 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和6年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【 事業 内 容 】	6年度予算額
15 3000R形戸閉制御装置の部品購入事業	

(1 事業目的・内容)

本件は、ブルーライン3000形車両の戸閉制御装置で使用している装置内リレーを購入するものです。この装置はATO送受信器からの信号をリレー動作に変換しワンマン運転時は運転士スイッチに連動、ツーマン運転時は車掌スイッチに連動してホーム柵ドア開閉指令を出力します。併せて運転台に配置されている「ホーム柵」「ホーム柵 ドア支障」「ホーム柵異常」表示の点灯条件も出力します。車両のドア開閉には欠かせない部品であり、車両の安全運行確保と装置の性能維持のため購入します。

項目	品名	1編成当り使用個数	R形14編成分使用個数	単価(千円)	金額(千円)
パワーリレー	MM4XP-D	14	196		
ソリッドステートタイマー	H3CA-A	20	280		
ソリッドステートタイマー	H3CR-F8	2	28		
パワーリードリレー	RB3P-G21D	58	812		
パワーリードリレー	RB4P-G22D	8	112		
				税抜き合計(千円)	
				消費税10%(千円)	
				税込み合計(千円)	



戸閉制御装置

(2 前年度から変更・見直した点)  
交換計画に合わせて実施

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)  
鉄道に関する技術上の基準を定める省令 第87条「施設及び車両の保全」、横浜市高速鉄道車両整備実施基準

令和6年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款：02 高速鉄道事業費	項：01 営業費用	目：30 車両保存費	所属：車両課(技術)
節・細節：38 車両修繕費			担当者名：熊谷

(単位：千円)

【事業内容】	6年度予算額
16 重要部保全・新重要部保全・全般保全検査委託事業	

(1 事業目的・内容)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」及び「施設及び車両の定期検査に関する告示(国土交通省告示)」に基づき、鉄道車両の検査周期等を定めた実施基準(横浜市高速鉄道車両整備実施基準)を届け出ています。この実施基準に定めている定期検査(重要部保全検査・全般保全検査・新重要部検査)の業務を委託して実施します。令和6年度から令和7年度までの2年契約として、令和6年度は1年目となります。

定期検査の内容

重要部保全検査	5年または走行距離が60キロメートルを超えない期間のいずれか短い期間ごとに、動力発生装置、走行装置、ブレーキ装置等、主要部分について分解・検査を行います。
新重要部保全検査	5年または走行距離が60キロメートルを超えない期間のいずれか短い期間ごとに、動力発生装置、走行装置、ブレーキ装置等、主要部分について台車と車体を分離しない在状態での検査を行います。
全般保全検査	全般検査の周期を延伸し、10年を超えない期間ごとに、車両を全般にわたって分解・検査を行います。
特別整備	空調装置の定期洗浄、ロールフィルタ交換、空調ダクト清掃、吹き出し口フィルタ交換

(千円)

項目	単価	単位	R6年度		R7年度	
			数量	金額	数量	金額
車体ほか	重要部保全検査	編成	0		0	
	全般保全検査	編成	4		5	
	新重要部保全検査	編成	4		2	
	特別整備等	式	1		1	
	業務補助	式	1		1	
合計金額(税込み)						
ATC装置	重要部保全検査	編成	0		0	
	全般保全検査	編成	4		5	
	新重要部保全検査	編成	4		2	
	空弁弁類整備	編成	1		1	
	合計金額(税込み)					
列車無線	重要部保全検査	編成	0		0	
	全般保全検査	編成	4		6	
	定期部品交換整備	編成	4		6	
	合計金額(税込み)					
合計金額						

(2 前年度から変更・見直した点)

1年から2年契約に見直し

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令 第87条「施設及び車両の保全」、横浜市高速鉄道車両整備実施基準

(4 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費	480,084					
債務負担設定						



令和6年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
17 ブレーキライニング張替修理事業	

(1 事業目的・内容)

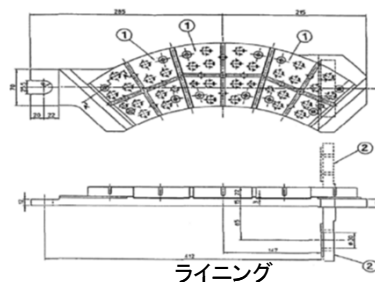
使用して摩耗したディスクブレーキのブレーキライニングを新品に張り替えます。

積算金額			
項目	数(枚)	単価	小計
ブレーキライニング張替	1,890		
税(10%)			
合計金額			

ライニング使用基準	
新品ライニング 厚さ	22mm
使用限度ライニング 厚さ	8mm



基礎ブレーキ装置



(2 前年度から変更・見直した点)

単価の上昇による(材料費)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令 第87条「施設及び車両の保全」、横浜市高速鉄道車両整備実施基準

令和6年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【 事業 内 容 】	6年度予算額
18 車輪交換事業	

(1 事業目的・内容)

走行により摩耗した車輪を新品に交換します。

入場車両別 車輪交換軸数

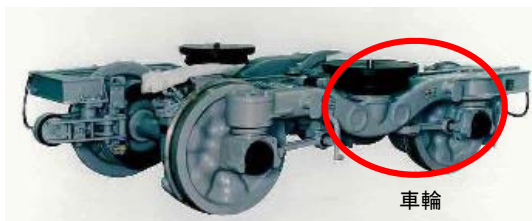
車両形式	編成	交換軸数
N形	36	24
	37	0
R形	39	0
	40	0
N形	34	8
	43	0
R形	44	0
	61	0
予 備		32
合 計		64

1軸あたり車輪交換金額

項目	単価
交換費	

積算金額

項 目	数(軸)	単価	計
車輪交換	64		
		税(10%)	
		合計金額	



車輪



車輪交換作業

(2 前年度から変更・見直した点)

入場計画に合わせて実施

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令 第87条「施設及び車両の保全」、横浜市高速鉄道車両整備実施基準

令和6年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	6年度予算額
19 ディスク板交換事業	

- (1 事業目的・内容)  
 使用により摩耗した基礎ブレーキ装置のディスク板を交換します。

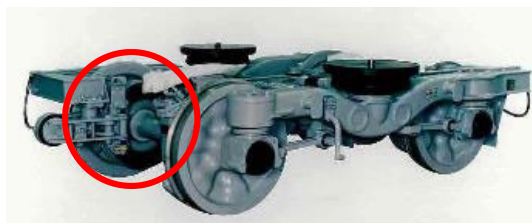
車両形式	編成	交換軸数
N形	36	32
	37	4
R形	39	2
	40	8
N形	34	10
	43	32
R形	44	0
	61	0
予 備		12
合 計		100

1軸あたりディスク板交換金額

項目	単価
交換費	

積算金額

項 目	数(軸)	単価	計
ディスク板交換	100		
税(10%)			
合計金額			



- (2 前年度から変更・見直した点)  
 入場計画に合わせて実施

- (3 根拠法令・規程、現場の意見等)  
 鉄道に関する技術上の基準を定める省令 第87条「施設及び車両の保全」、横浜市高速鉄道車両整備実施基準

令和6年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【 事業 内 容 】	6年度予算額
20 送風機清掃事業	

(1 事業目的・内容)

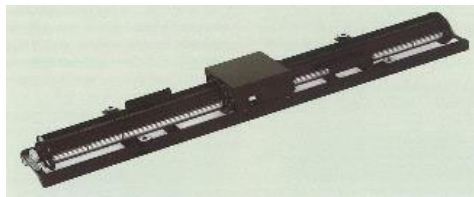
客室内の空気循環と扇風機としての機能をもつ送風機の清掃を行います。  
送風機を取り外し清掃を行い、付着したほこりを除去し清潔な状態を維持します。

積算金額

項目	数量	単位	単価	金額
A/N/V形送風機清掃	0	編成		
R/S形送風機清掃	6	編成		
4000形送風機清掃	4	編成		
税抜金額				
税(10%)				
合計金額				



客室天井



送風機

(2 前年度から変更・見直した点)

入場計画に合わせて実施(R8年度に入場する予定の編成に対して実施)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

お客さまサービス

令和6年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)	
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名:	熊谷

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
21 月検査業務委託事業	88,317

(1 事業目的・内容)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」及び「施設及び車両の定期検査に関する告示(国土交通省告示)」に基づき、鉄道車両の検査周期等を定めた実施基準(横浜市高速鉄道車両整備実施基準)を届け出ています。この実施基準に定めている定期検査(月検査)の業務を委託して実施します。令和4年度から令和6年度までの3年契約で、令和6年度は3年目となります。

月検査	90日を超えない期間ごとに車両の状態及び機能について検査を行います。
車輪削正	走行中にレールとの摩擦により車輪に生じた傷や摩耗について、車輪を削ることにより本来の形状に戻します。
業務補助	検修設備の点検等の補助作業を行います。
定期点検	月検査とは別途に定める点検項目について、項目ごとに定める検査周期で点検を行います。

年度別施工数および積算金額

項目	単価	単位	R4年度		R5年度		R6年度	
			数量	金額	数量	金額	数量	金額
直接人件費								
月検査	282	編成	144	40,608	144	40,608	144	40,608
車輪削正	17	軸	900	15,300	900	15,300	900	15,300
業務補助	140	月	12	1,680	12	1,680	12	1,680
引継ぎ教習	1,490	式					1	1,490
小計				57,588		57,588		59,078
定期点検								
ア 側開戸バランサー機構点検給油	4	編成	15	60	15	60	15	60
イ 車輪径およびバックゲージ測定	4	編成	32	128	32	128	32	128
ウ 塗油装置点検清掃	4	編成	19	76	19	76	19	76
エ 連結球頭部点検給油	4	編成	25	100	25	100	25	100
オ MMストレナ点検清掃	4	編成	60	240	60	240	60	240
カ CP点検給油(油交換)及び油面計清掃	4	編成	36	144	36	144	36	144
キ CPストレナ点検清掃	4	編成	72	288	72	288	72	288
ク 軸ブラシ長さ測定およびカーボン溜め清掃	4	編成	67	268	67	268	67	268
ケ 暖房器使用前点検	46	編成	36	1,656	36	1,656	36	1,656
コ A形車両灯類定期交換(客室灯・乗務員室灯)	4	編成	5	20	3	12	1	4
サ ドアエンジン点検給油	4	編成	36	144	36	144	36	144
シ プレーキディスク測定	4	編成	24	96	24	96	24	96
ス 軸端接地装置長さ測定	4	編成	28	112	28	112	28	112
小計				3,332		3,324		3,316
検査合計				60,920		60,912		62,394
諸経費				17,442		17,440		17,894
業務価格(税抜)				78,362		78,352		80,288
税(10%)				7,836		7,835		8,029
合計金額				86,198		86,187		88,317

(2 前年度から変更・見直した点)

R4年度に契約済み

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令 第87条「施設及び車両の保全」、横浜市高速鉄道車両整備実施基準

(4 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費	86,187	88,317				174,504
債務負担設定						

令和6年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【 事業 内 容 】	6年度予算額
22 台車装置修繕業務委託事業	

(1 事業目的・内容)

重要部保全検査及び全般保全検査時に、台車装置の検査及び整備を実施しています。この検査・整備時に台車装置で不具合が発見された場合は、台車装置のメーカーにより修繕を実施します。

1編成あたりの金額内訳

項目	金額
台車装置修繕費(穴あけ補修なし、3000S)	
台車装置修繕費(穴あけ補修あり S形以外)	
戻しパネ穴あけ補修(台車枠補修なし)	

積算金額

項目	数量	単位	単価	金額
台車装置修繕(なし)	0	編成		
台車装置修繕(あり)	4	編成		
戻しパネ穴あけ補修	0	編成		
税抜金額				
税(10%)				
合計金額				



台車装置



修繕作業

- (2 前年度から変更・見直した点)  
入場計画に合わせて実施

- (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令 第87条「施設及び車両の保全」、横浜市高速鉄道車両整備実施基準

## 令和6年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
23 その他修理事業	88,381

## (1 事業目的・内容)

車両に発生した不具合の修理を実施します。

## 過去3年間の実績と予算額

項目	R2年度	R3年度	R4年度	R6年度
予算額	72,258	72,258	85,169	88,381
実績額	85,465	73,216	106,460	-

## (2 前年度から変更・見直した点)

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令 第87条「施設及び車両の保全」、横浜市高速鉄道車両整備実施基準

令和6年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	6年度予算額
24 新重要部検査修理単価契約委託事業	

(1 事業目的・内容)

新重要部検査で実施する修理について、単価契約により委託する事業です。

積算金額		
項 目	数(式)	価 格
修理単価契約委託事業	1	
税(10%)		
合計金額		

修理項目

(1) ウチシリンダ修理
(2) 栓受け接触片バネ交換
(3) ブレーキダイヤフラム交換
(4) 密着連結器ゴムパット交換
(5) 半永久連結器ゴムパット交換
(6) 牽引装置緩衝ゴム交換
(7) 集電装置平座金交換
(8) N形運転士モータリンク交換
(9) RSV形運転士モータリンク交換
(10) RSV形貫通路側モータリンク交換
(11) 主電動機ローラ・ボールベアリング交換
(12) 戸車交換
(13) 脱線止めボールベアリング交換
(14) 戸車ボールベアリング交換
(15) VM802電磁弁非常用交換
(16) VM802電磁弁保安用交換

(17) VM801電磁弁供給・排気用交換
(18) VM801電磁弁開放用交換
(19) モノリンク緩衝ゴム交換
(20) 特殊ゴム交換
(21) M20*55取付ボルト・ナット・バネ座交換
(22) 連結器ボルト・Uナット交換
(23) 軸バネ交換
(24) 制輪子頭用ブッシュ交換
(25) 集電装置靴支えピン交換
(26) 防振ゴム支持梁支え用交換
(27) Y4-2Bゴムブッシュ交換
(28) 牽引装置ブッシュ組立交換
(29) 戻しバネ組立交換
(30) ピストン組立交換
(31) パイロット弁組立
(32) 台車分解・組立・仕上げ

(2 前年度から変更・見直した点)

新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令 第87条「施設及び車両の保全」、横浜市高速鉄道車両整備実施基準



## 令和6年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 38 車両修繕費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術) 担当者名: 矢部

(単位:千円)

	6年度 A	5年度 B	増△減(A-B)
予算額	468,603	582,994	△ 114,391

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
1 重要部保全・全般保全検査用材料調達事業	112,829

## (1 事業目的・内容)

グリーンライン10000形車両の重要部保全検査及び全般保全検査で行う整備に必要な材料を購入します。  
車両の安全運行を確保し各装置の性能を維持することを目的として、定期交換が必要となる部品を主に購入します。  
製作に半年以上の期間が必要な部品を調達するため、令和7年度に使用する材料を1年前倒して調達するものです。

## (2 前年度から変更・見直した点)

・対象編成数及び各検査に該当する編成数を変更しました。

## 【対象編成数】

	重要部保全検査	全般保全検査	計
令和5年度	1編成	2編成	3編成
令和6年度	3編成	1編成	4編成

## 【内訳】

(単位:千円)

項目	重要部保全検査[1編成あたり]	全般保全検査[1編成あたり]
台車・連結器部品		
パンタグラフ・車体部品		
空制・空調・電子機器部品		
戸閉装置部品		
リング・軸受		
一般機械部品・一般電気部品等		
計	25,780	35,489

(単位:千円)

予算額			
項目	単価	数量	金額
重要部保全検査用材料	25,780	3編成	77,340
全般保全検査用材料	35,489	1編成	35,489
計			112,829

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・鉄道に関する技術上の基準を定める省令
- ・横浜市高速鉄道車両整備実施基準
- ・高速鉄道車両整備要領10000形

## 令和6年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 矢部

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額									
<b>2 列車検査・月検査用材料調達事業</b>										
<p>(1 事業目的・内容)</p> <p>グリーンライン10000形車両の列車検査及び月検査で行う整備に必要な材料を購入します。  車両の安全運行を確保し各装置の性能を維持することを目的として、摩耗限度となり交換が必要となる部品を主に購入します。  製作に半年以上の期間が必要な部品を調達するため、令和7年度に使用する材料を1年前倒して調達するものです。</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去実績から必要数量を見積もり、実績単価及び見積により金額を算出しました。</li> <li>・予備在庫の数量から購入数量を調整しました。</li> </ul> <p>【内訳】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>金額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パンタグラフ部品</td> <td></td> <td>すり板</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道に関する技術上の基準を定める省令</li> <li>・横浜市高速鉄道車両整備実施基準</li> <li>・高速鉄道車両整備要領10000形</li> </ul>		項目	金額	備考	パンタグラフ部品		すり板	計		
項目	金額	備考								
パンタグラフ部品		すり板								
計										

## 令和6年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 矢部

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
3 その他材料調達事業	3,548

## (1) 事業目的・内容)

車両故障等が発生した際に、不具合箇所の部品交換を実施する必要があります。  
 また予防保全のため、不具合が発生した箇所について、他編成で一斉点検を行う場合があります。  
 安全な運行の提供の為、迅速に対応する必要があります。したがって、予備部品を使用して不具合箇所を復旧します。  
 予備部品を使用すると、障害対応で保管していた部品や定期交換用で保管していた部品の在庫が不足するため、補充する必要があります。  
 直近の事例では、2次車の空調装置の車両故障が多発しており、コンプレッサーやファンのベアリングを購入しています。

## 【過去3年間の障害対応による部品交換と平均単価】

年度	購入件数(件)	発注総額(千円)
令和3年度	10	5,164
令和4年度	7	3,548
令和5年度(予測)	7	

## (2) 前年度から変更・見直した点)

新規事業

## (3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・鉄道に関する技術上の基準を定める省令
- ・横浜市高速鉄道車両整備実施基準
- ・高速鉄道車両整備要領10000形

## 令和6年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 矢部

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
4 空気ばね購入事業	

## (1) 事業目的・内容

10000形車両用の空気ばねを購入します。

空気ばねは、外筒と内筒にゴム製のダイヤフラムがはさまれている構造となっています。

空気ばねはゴム部品のため、経年劣化により漏気を起こす可能性があり交換が必要です。

そのため、重要部・全般保全検査において、既にダイヤフラムを順次交換しています。

しかし、外筒に接着されているゴム部も経年劣化していることが分かりました。

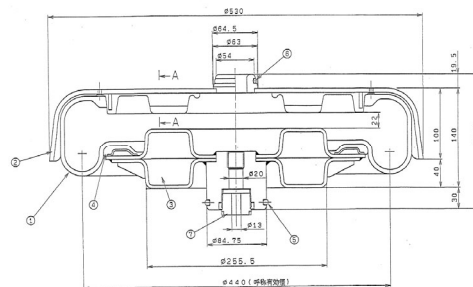
したがって、ダイヤフラムを交換済みの編成については、外筒のみを交換し、その他の編成はダイヤフラムを含む組立品を交換します。

製作に半年以上の期間が必要な部品を調達するため、令和7年度に使用する材料を1年前倒して調達するものです。

## 空気ばね購入数量(16個/編成)

(単位:個)

年度	編成数(次年度)	組立品	外筒
令和3年度	2	0	32
令和4年度	6	0	96
令和5年度	5	0	80
令和6年度	2	0	32
令和7年度	1	16	0
令和8年度	1	16	0



空気ばね

## (2) 前年度から変更・見直した点

無し

## (3) 根拠法令・規程、現場の意見等

- ・鉄道に関する技術上の基準を定める省令
- ・横浜市高速鉄道車両整備実施基準
- ・高速鉄道車両整備要領10000形

## 令和6年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 矢部

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
5 空調装置購入事業	0

## (1) 事業目的・内容

空調装置はオーバーホールを順次行っていますが、新型コロナウイルス感染症対策で車内換気と同時に冷房運転を行っているため、故障の発生頻度が高くなっています。また、他事業者でも同様に空調装置の故障が増えているため、故障した装置のメーカー修理対応に以前よりも長く時間がかかっています。

修理対応に必要な予備品を確保するため、空調装置を2台購入します。

空調装置は発注から納品まで20か月のため、債務負担を設定します。

## 【1編成あたりの搭載数】

4両編成	8台
6両編成	12台



## (2) 前年度から変更・見直した点

## (3) 根拠法令・規程、現場の意見等

- ・鉄道に関する技術上の基準を定める省令
- ・横浜市高速鉄道車両整備実施基準
- ・高速鉄道車両整備要領10000形

## (4) 年次表

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費	4,400					
債務負担設定						

令和6年度 修繕費 事業計画書

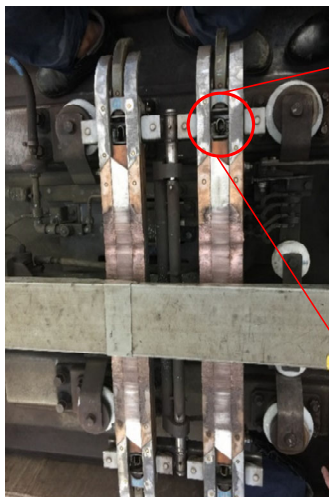
予 算 科 目			担 当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 矢部

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	6年度予算額
6 パンタグラフ舟支え組購入事業	

(1 事業目的・内容)

パンタグラフに使用される舟支え組は、架線と接触する舟体を支えることを目的とした部品です。  
 経年劣化により舟支え組のガイドストッパーが摩耗しており、厚さが薄くなっています。劣化しているものを優先して交換します。  
 ※1編成あたりの搭載数: 2組



パンタグラフ



ガイドストッパー

(2 前年度から変更・見直した点)  
 新規事業

- (3 根拠法令・規程、現場の意見等)
- ・鉄道に関する技術上の基準を定める省令
  - ・横浜市高速鉄道車両整備実施基準
  - ・高速鉄道車両整備要領10000形

## 令和6年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 矢部

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
7 車外表示装置電源基板購入事業	0

## (1 事業目的・内容)

10000形車両の車外表示装置の当該製品の製造終了に伴い、今後の故障対応等の保守に必要な装置内部の電源基板を予備品として購入します。  
電源基板は故障率の高い部品であるため、購入により迅速な障害対応を実施します。  
また、現状保有品を含めた保守期限が延長され、装置全体の延命を図ります。  
対象装置: 10000形車両用 正面行先表示装置、運行番号表示装置、側面行先表示装置

## (2 前年度から変更・見直した点)

新規事業

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・鉄道に関する技術上の基準を定める省令
- ・横浜市高速鉄道車両整備実施基準
- ・高速鉄道車両整備要領10000形

## (4 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

## 令和6年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)	
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名:	矢部

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
8 車両検査ほか委託事業	267,267

## (1 事業目的・内容)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令(国土交通省)及び施設並びに車両の定期検査に関する告示(国土交通省告示)に従い、横浜市高速鉄道車両整備実施基準に定められた車両の定期検査として、列車検査、月検査及び重要部保全検査、全般保全検査の業務を委託して実施します。委託契約はR3年度から5年間の複数年契約として、R6年度は契約の4年目となります。

## ○定期検査の内容

列車検査	10日を超えない期間ごとに車両の主要部品の状態について、目視等により検査を行います。
月検査	90日を超えない期間ごとに車両の状態及び機能について検査を行います。
重要部保全検査	重要部検査の周期を4年から5年に延伸した検査です。5年または走行距離が60万キロメートルを超えない期間のいずれか短い期間ごとに、動力発生装置、走行装置、ブレーキ装置等、主要部分について分解・検査を行います。
全般検査	8年を超えない期間ごとに、車両を全般にわたって分解・検査を行います。
全般保全検査	全般検査の周期を延伸し、10年を超えない期間ごとに、車両を全般にわたって分解・検査を行います。

## (2 前年度から変更・見直した点)

・R3年度の契約に合わせて項目と金額を修正しました。

## ＜車両検査ほか委託事業内訳＞

			R3年度		R4年度		R5年度		R6年度		R7年度					
項目			単価(税込)	単位	数量	金額(税込)	数量	金額(税込)	数量	金額(税込)	数量	金額(税込)				
重要部 保全 検査	車体ほか	重要部保全検査	35,254	編成	1	35,254	1	35,254	3	105,762	1	35,254	4	141,016		
		全般(保全)検査	38,429	編成	5	192,145	1	38,429	1	38,429	1	38,429	2	76,858		
		シート洗浄	282	編成	2	564	1	282	4	1,128	2	564	6	1,692		
		車輪交換	4,598	編成	1	4,598	1	4,598	0	0	0	0	4	18,392		
	全般 検査	ATC装置ほか	重要部保全検査	3,165	編成	1	3,165	0	0	3	9,495	1	3,165	3	9,495	
			全般(保全)検査	3,297	編成	0	0	1	3,297	0	0	0	0	1	3,297	
		列車無線装置	3,165	編成	4	12,660	1	3,165	1	3,165	1	3,165	2	6,330		
				3,297	編成	1	3,297	0	0	0	0	0	0	0		
				935	編成	1	935	1	935	3	2,805	1	935	4	3,740	
				935	編成	5	4,675	1	935	1	935	1	935	2	1,870	
						計	-	257,285	-	86,895	-	161,719	-	82,447	-	262,690
月検査 列車 検査 ほか	責任者	119	回	242	28,798	243	28,917	243	28,917	243	28,917	242	28,798			
	月検査(4両)	590	回	66	38,940	66	38,940	51	30,090	35	20,650	28	16,520			
	月検査(6両)	885	回	0	0	2	1,770	17	15,045	33	29,205	40	35,400			
	列車検査(4両)	10	回	376	3,760	538	5,380	432	4,320	315	3,150	238	2,380			
	列車検査(6両)	14	回	0	0	38	532	144	2,016	261	3,654	338	4,732			
	車輪削正	20	軸	280	5,600	296	5,920	320	6,400	352	7,040	352	7,040			
	冷房点検(4両)	260	回	34	8,840	32	8,320	23	5,980	19	4,940	14	3,640			
	冷房点検(6両)	390	回	0	0	2	780	11	4,290	15	5,850	20	7,800			
	暖房点検(4両)	169	回	17	2,873	16	2,704	12	2,028	9	1,521	7	1,183			
	暖房点検(6両)	253	回	0	0	1	253	5	1,265	8	2,024	10	2,530			
	ライニング張替	9	枚	70	630	544	4,896	592	5,328	640	5,760	704	6,336			
	故障対応	176	日	365	64,240	365	64,240	366	64,416	365	64,240	365	64,240			
	業務補助(検修設備月例点検等)	-	式	1	3,363	1	7,865	1	7,881	1	7,869	1	7,853			
						計	-	157,044	-	170,517	-	177,976	-	184,820	-	188,452
						合計		414,329		257,412		339,695		267,267		451,142

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

・鉄道に関する技術上の基準を定める省令  
・高速鉄道車両整備要領10000形

・横浜市高速鉄道車両整備実施基準  
・施設及び車両の定期検査に関する告示(国土交通省告示)

## (4 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費	339,695	267,267	451,142			1,058,104
債務負担設定						



令和6年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 矢部

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
9 その他修理事業	27,762

(1 事業目的・内容)

車両故障等が発生した際に、不具合箇所の修理を実施するものです。  
 安全な運行の提供の為、迅速な修理を実施する必要があります。  
 緊急に対応が必要な修理のほか、全般・重要部検査の入場時に実施する修理作業を含みます。  
 緊急修理の費用は、過去2年間の平均修理単価と今年度の修理件数予測を基に算出しました。  
 定期入場時に実施する修理は令和5年度の契約実績から単価を採用しました。

【過去2年間の緊急修理件数と平均単価】

	緊急修理件数(件)	緊急修理平均単価(千円)
令和3年度	25	336
令和4年度	25	337
令和5年度 予測	※ 40	

※緊急修理件数:20件(9月末時点)

【内訳】

・緊急修理費用

側開戸及び非常扉ゴムパッキン等交換	×	2 編成	=	千円
前面ガラスフチ材補修	×	2 編成	=	千円
戸閉機械ブーリ交換	×	2 編成	=	千円
列車無線アンテナカバーシール材補修	×	2 編成	=	千円
台車ゴムブッシュ交換整備	×	2 編成	=	千円
連結ホロ取付部シール材補修	×	2 編成	=	千円
床下機器ぎ装配線防水処理	×	2 編成	=	千円
接地スイッチ箱発錆部補修	×	2 編成	=	千円
ホロ金枠交換修理	×	2 編成	=	千円
舟支え組交換(臨時)	×	12 編成	=	千円
空制弁整備(臨時)			=	千円
計				27,762 千円

(2 前年度から変更・見直した点)

- ・定期検査に入場する編成数の減(4編成→2編成)にあわせて、入場時に実施する修理の編成数を変更しました。
- ・定期入場時に実施する修理項目を変更しました。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・鉄道に関する技術上の基準を定める省令
- ・横浜市高速鉄道車両整備実施基準
- ・高速鉄道車両整備要領10000形

令和6年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 矢部

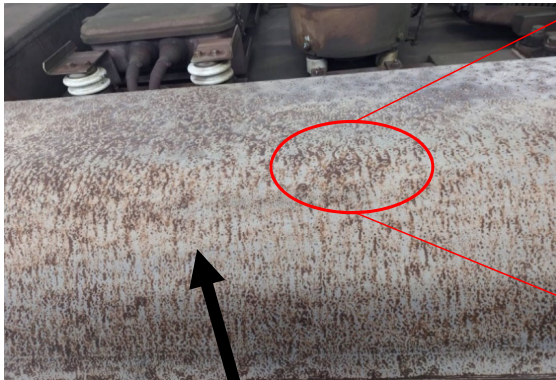
(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
10 車両屋根絶縁材補修事業	

(1 事業目的・内容)

10000形車両は開業から15年以上経過しているため、屋根の絶縁材が経年劣化し、ひび割れが発生している箇所があります。絶縁材に剥離が発生している箇所については、劣化箇所を除去して再塗布します。

予定施工編成数	
令和6年度	8
令和7年度	7



屋根上絶縁材



絶縁材ひび割れ

(2 前年度から変更・見直した点)

新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・鉄道に関する技術上の基準を定める省令
- ・横浜市高速鉄道車両整備実施基準
- ・高速鉄道車両整備要領10000形

令和6年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 38 車両修繕費			担当者名: 矢部

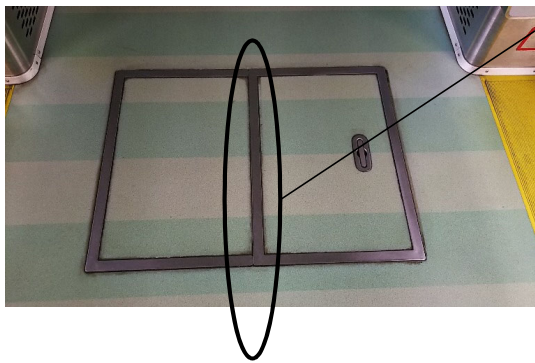
(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
11 車内揚フタ交換事業	

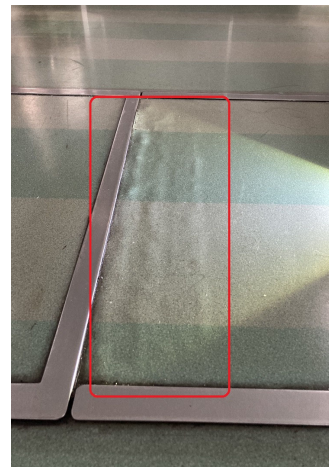
(1 事業目的・内容)

車内揚フタは、リニアモータの吊り装置を点検・調整するために設けられた客室床面の開口部のフタです。経年劣化によりステンレス枠の腐食と床材の剥離が進んでいて、床面が浮いてしまい凹凸になっています。劣化しているものを優先して交換を行い補修します。

予定施工編成数	
令和5年度	1
令和6年度	2
令和7年度	6
令和8年度	4
令和9年度	2
令和10年度	2
計	17



車内揚フタ



腐食、剥離の状況

(2 前年度から変更・見直した点)  
新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)  
 ・鉄道に関する技術上の基準を定める省令  
 ・横浜市高速鉄道車両整備実施基準  
 ・高速鉄道車両整備要領10000形

## 令和6年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術) 担当者名: 熊谷

(単位:千円)

	6年度 A	5年度 B	増△減(A-B)
予算額	64,628	49,596	15,032

<input type="radio"/>	ブルーライン
<input type="radio"/>	グリーンライン
<input type="radio"/>	共通

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額														
1 材料調達事業	1,433														
(1 事業目的・内容) 上永谷及び新羽車両基地に設置している設備等に用いる消耗品を購入します。															
<table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>契約実績(税込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>1,886</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>2,293</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>平均値</td> <td>1,433</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="display: inline-table;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>予算要求(税込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和6年度</td> <td>1,433</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">税率10%</p>		年度	契約実績(税込)	令和2年度	1,886	令和3年度	2,293	令和4年度	120	平均値	1,433	年度	予算要求(税込)	令和6年度	1,433
年度	契約実績(税込)														
令和2年度	1,886														
令和3年度	2,293														
令和4年度	120														
平均値	1,433														
年度	予算要求(税込)														
令和6年度	1,433														
(2 前年度から変更・見直した点) 令和2年度～令和4年度の契約実績の平均値を根拠として積算を行いました。															
(3 根拠法令・規程、現場の意見等) 鉄道に関する技術上の基準を定める省令 第87条「施設及び車両の保全」、横浜市高速鉄道車両整備実施基準															

## 令和6年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 39 その他修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
2 車両検修設備保守委託事業	

## (1) 事業目的・内容)

上永谷車両基地、新羽車両基地に設置されている車両検修設備の保守を行います。

車両検修設備は車両の各種検査及び車両脱線時の復旧等に使用しています。装置の定期点検を行い、性能、安全性及び寿命を維持します。



輪重測定装置



歯車箱回転検査装置

点検周期表に基づき点検を実施します。

名称	数量	使用用途	点検周期	設置場所	R5年度点検	R6年度点検
車両輪重測定装置	1台	重要部・全般保全検査	1年	上永谷修繕工場	○	○
自動車両洗浄装置	2台	車両洗浄	2年	上永谷検車区、新羽検車区	○	—
台車洗浄装置	1台	重要部・全般保全検査	2年	上永谷修繕工場	○	—
台車塗装装置 (脱臭装置、塗装ロボット含)	1台	全般保全検査	3年	上永谷修繕工場	—	—
輪軸洗浄装置(洗浄ロボット含む)	1台	重要部・全般保全検査	3年	上永谷修繕工場	—	—
台車トラバーサ(台車抜取装置)	1台	重要部・全般保全検査	3年	上永谷修繕工場	—	—
主電動機気吹装置 (排気処理、気吹ロボット含)	1台	重要部・全般保全検査	3年	上永谷修繕工場	○	—
ルーカス脱線復旧装置	2台	脱線復旧	3年	上永谷検車区、新羽検車区	○	—
台車分解組立装置	2台	重要部・全般保全検査	3年	上永谷修繕工場	—	—
台車輪軸転車台	8基	重要部・全般保全検査	6年	上永谷修繕工場	—	—
輪芯旋盤	1台	重要部・全般保全検査	3年	上永谷修繕工場	○	—
超音波探傷装置	1台	重要部・全般保全検査	6年	上永谷修繕工場	○	—
歯車箱回転検査装置	1台	重要部・全般保全検査	6年	上永谷修繕工場	—	○

## (2) 前年度から変更・見直した点)

装置の点検周期に合わせて実施

## (3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

## 令和6年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 39 その他修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
3 車両移動機等保守委託事業	

## (1) 事業目的・内容

車両移動機と高所作業車は、主に車輪削正時の車両移動と車両屋根の点検に使用しています。

上永谷車両基地と新羽車両基地の車両移動機、高所作業車について、法廷で定められた定期自主検査を行い、性能、安全性及び寿命を維持します。



車両移動機 (AN77RR-2ST)



車両移動機 (30D-BWAT)

点検周期表に基づき点検を実施します。

名称	型式等	数量	使用用途	点検周期	設置場所	R5年度点検	R6年度点検
車両移動機	AN77RR-2ST	1台	重要部・全般保全検査	毎年	上永谷修繕工場	○	○
	30D-BWAT	1台	車輪削正時の車両移動	毎年	上永谷検車区	○	○
	21HM	1台	車輪削正時の車両移動	毎年	新羽車両基地	○	○
高所作業車	MAX-LIFT-700	1台	重要部・全般保全検査	毎年	上永谷修繕工場	○	○
テーブルリフター	ANT-LT-700	1台	重要部・全般保全検査	3年	上永谷修繕工場	-	○

## (2) 前年度から変更・見直した点

## (3) 根拠法令・規程、現場の意見等

労働安全衛生規則第229条(定期自主検査) : 事業者は、1年以内毎に1回、定期に自主検査を行わなければならない。

労働安全衛生規則第194条の23(定期自主検査) : 事業者は、1年以内毎に1回、定期に自主検査を行わなければならない。

## 令和6年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 39 その他修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
4 クレーン定期自主検査事業	

## (1 事業目的・内容)

車両基地に設備されているクレーンは、車両や車両部品等を運搬するために使用しています。  
各クレーンについて、法令で定められた定期自主検査を行い、性能、安全性及び寿命を維持します。



(10tホイス付天井クレーン)

点検周期表に基づき点検を実施します。

名称	重量	数量	使用用途	設置場所	月例点検	年次点検	検査周期
天井クレーン	15t/3t	2基	重要部・全般保全検査	上永谷修繕工場	11回	1回	1年
	7.5t	1基	重要部・全般保全検査	上永谷修繕工場	11回	1回	1年
	1t	1基	各装置等の運搬	上永谷修繕工場	-	1回	1年
ホイス付天井クレーン	10t	1基	重要部・全般保全検査	上永谷修繕工場	11回	1回	1年
	2.5t	2基	重要部・全般保全検査	上永谷修繕工場	-	1回	1年
スタッカークレーン	4.2t	1基	重要部・全般保全検査	上永谷修繕工場	11回	1回	1年
	0.8t	2基	各装置等の運搬	上永谷修繕工場	11回	1回	1年
モノレールホイスクレーン	0.25t	2基	各装置等の運搬	上永谷検車区	-	1回	1年
橋形クレーン	8.1t	1基	レール等重量物運搬	新羽施設区	11回	1回	1年
	4.8t	1基	レール等重量物運搬	上永谷施設区	11回	1回	1年

性能検査(揚力3t以上が対象)

名称	重量	数量	検査周期	実施年
天井クレーン	15t/3t	2基	2年	R6年実施
	7.5t	1基		R6年実施
ホイス付天井クレーン	10t	1基		R6年実施
スタッカークレーン	4.2t	1基		R5年実施
橋形クレーン	4.8t	1基		R5年実施
	8.1t	1基		R5年実施

15t/3tクレーン 整備

名称	数量
主巻電動機整備	2基
主巻減速器整備	2基
主巻ブレーキ整備	2基

## (2 前年度から変更・見直した点)

15t/3t天井クレーン(2基)整備を追加いたします。

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

労働安全衛生法第45号の1、同法施行令第15条、クレーン等安全規則第34条(定期自主検査)  
1年以内毎に1回、また、1か月以内毎に1回、検査を行わなければならない。

労働安全衛生法 第45条の2

特定自主検査を行う際は、資格を有するもの又は登録を受けたものを実施させなければならない。

## 令和6年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 39 その他修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
5 フォークリフト等特定自主検査事業	

## (1) 事業目的・内容)

上永谷及び新羽車両基地のフォークリフトは、車両部品等の運搬に使用しています。また、作業台付蓄電池車は、車両検査の作業に使用しています。各フォークリフト及び作業台付蓄電池車について、法令で定められた定期自主検査を行い、性能、安全性及び寿命を維持します。

点検周期表に基づき点検を実施します。

名称	重量	数量	使用用途	点検周期	設置場所
バッテリー フォークリフト	2.5t	1台	物品搬入・移動等	毎年	上永谷修繕工場
	1.65t	1台	物品搬入・移動等	毎年	上永谷検車区
	1.6t	1台	物品搬入・移動等	毎年	上永谷修繕工場
	1.5t	1台	物品搬入・移動等	毎年	上永谷修繕工場
エンジンフォークリフト	3.0t	1台	物品搬入・移動等	毎年	新羽検車区
作業台付蓄電池車	-	4台	重要部・全般保全検査等	毎年	上永谷修繕工場



バッテリーフォークリフト

## (2) 前年度から変更・見直した点)

なし

## (3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

労働安全衛生規則第151条の24(フォークリフトの特定自主検査)及び194条の26(作業台付蓄電池車の特定自主検査)

1年以内毎に1回、検査を行わなければならない。

労働安全衛生法第45条の2

自主検査を行う際は、資格を有するもの又は登録を受けたものを実施させなければならない。



## 令和6年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)	
節・細節: 39 その他修繕費			担当者名: 熊谷	

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
6 架空集電装置定期検査事業	

## (1 事業目的・内容)

架空集電装置は、第三軌条の設備が無い建屋内で車両用動力電源として使用しており、上永谷検車区(2基)、修繕工場(1基)及び新羽検車区(2基)にそれぞれ設置されています。

各架空集電装置について、省令で定められた定期検査を行い、性能、安全性及び寿命を維持します。



点検周期表に基づき点検を実施します。

名称	型式等	数量	使用用途	点検周期	設置場所
架空集電装置	-	2基	車両電源供給	毎年	上永谷検車区
	-	1基			上永谷修繕工場
	-	2基			新羽検車区

## (2 前年度から変更・見直した点)

なし

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令第90条の2

施設及び車両の定期検査に関する告示第3条(電力設備の定期検査)

1年以内毎に1回、定期に検査を行わなければならない。

令和6年度 修繕費 事業計画書

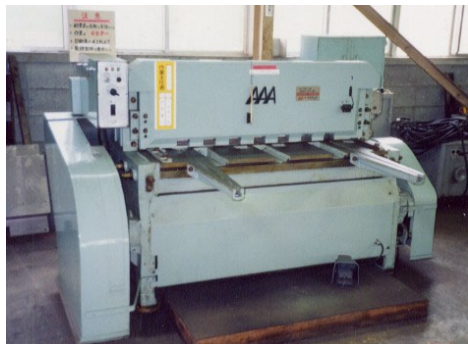
予 算 科 目			担 当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 39 その他修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【 事業 内 容 】	6年度予算額
7 一般工作機械保守委託事業	

(1 事業目的・内容)

一般工作機械は、上永谷修繕工場における車両定期検査及び修繕で車両部品の脱着や試験に使用しています。  
各工作機械について省令で定められた定期検査を行い、性能、安全性及び寿命を維持します。



スケヤージャー



油圧プレス



バネ試験機

点検周期表に基づき点検を実施します。

名称	型式等	数量	使用用途	点検周期	設置場所	R5年度点検	R6年度点検
スケヤージャー	N-1504	1台	鋼板・アルミ・ステンレス等の板材の切断	毎年	上永谷修繕工場	○	○
油圧プレス	BC-25	1台	材料加工(曲げ、圧縮、圧脱、圧入等)	毎年	上永谷修繕工場	○	○
バネ試験器	RUE-200	1台	地下鉄車両の鋼材等の機械的強度(引っぱり、曲げ試験)特性の評価判定	毎年	上永谷修繕工場	○	○
スクリュー コンプレッサー	KST22AD-S	2台	空圧機械や工具用の圧縮空気を作り出す 機械の定期自主検査	4年	上永谷修繕工場	-	-
	SG610AD-5HM	1台		(前回R3)	上永谷修繕工場	-	-
	SG22ADIV	1台		4年	上永谷検車区	○	-
	HM-22ADiH型	1台		4年	上永谷検車区	○	-
	HM-22ADiH型	2台		(前回R元)	新羽検車区	○	-

(2 前年度から変更・見直した点)

点検周期による。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

スケヤージャー

労働安全衛生法第45条の1(定期自主検査)

事業者は、定期に自主検査を行ない、その結果を記録しておかなければならない。

労働安全衛生法施行令第15条の2(定期に自主検査を行うべき機械等)

労働安全衛生規則第135条(定期自主検査)

事業者は、1年以内毎に1回、定期に自主検査を行なわなければならない。

バネ試験機

JIS-B-7721引張試験機第11項

事業者は、1年以内毎に1回、検査・校正を行なわなければならない。

## 令和6年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 39 その他修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
8 3000形列車無線携帯・簡易試験器保守委託事業	

## (1 事業目的・内容)

列車無線携帯・簡易試験器は、上永谷車両基地及び新羽車両基地における列車検査、月検査及び重要部・全般保全検査に使用しています。試験器の必要なメンテナンスを行い性能、安全性及び寿命を維持します。



列車無線装置試験器

名称	型式等	数量	使用用途	点検周期	設置場所
列車無線携帯試験器	A011278-1	1台	列車検査、月検査、重要部・全般保全検査、故障分析等	毎年	上永谷検車区
	A011278-2	1台			新羽検車区
列車無線簡易試験器	A011278-1	1台			上永谷検車区
	A011278-2	1台			新羽検車区

(2 前年度から変更・見直した点)  
なし

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## 令和6年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 39 その他修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
9 新羽車両基地車輪転削盤保守委託事業	

## (1 事業目的・内容)

車輪転削盤は、走行により摩耗した車輪を正しい形状に削正する装置です。定期的な削正により車輪形状を管理しています。新羽車両基地の車輪転削盤について年次点検を行い、装置の性能、安全性及び寿命を維持します。



新羽車両基地 車輪転削盤

点検周期表に基づき点検を実施します。

名称	型式等	数量	使用用途	点検周期	設置場所
車輪転削盤	LUT-106	1台	車輪形状の管理	毎年	新羽検車区

## (2 前年度から変更・見直した点)

押しボタンスイッチの修理を追加します。

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## 令和6年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 39 その他修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
10 ブルーライン運用管理システムセキュリティ対策業務委託	

## (1 事業目的・内容)

運用管理システムは、車両の運用や検査、清掃等の作業計画及び基地内の配車計画に使用しています。  
サーバクライアント方式で構成されておりセキュリティ対策としてウイルス対策用ソフトウェアをインストールしています。  
情報セキュリティを確保するため、システム全体のウイルス対策用ソフトウェアの定期的な更新を行います。

## (2 前年度から変更・見直した点)

なし

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市交通局情報セキュリティ管理規程  
横浜市交通局情報セキュリティ管理要綱

## 令和6年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 39 その他修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【 事業内容 】	6年度予算額
11 その他の修理事業	9,282

## (1 事業目的・内容)

上永谷車両基地及び新羽車両基地に設置している設備の不具合箇所の修理対応を行います。  
車両基地の設備等は、列車検査、月検査及び重要部・全般保全検査で使用しています。機器類が故障し機能を停止した場合、各検査の工程に支障をきたす恐れがあることから迅速な修理対応が必要となります。

令和2年度～令和4年度の契約実績の平均値を根拠として積算を行いました。  
不具合が発生している機器・装置の修理費を計上。

年 度	契約実績(税込)
令和2年度	6,754
令和3年度	11,563
令和4年度	9,529
平均値	9,282

年 度	予算要求(税込)
令和6年度	9,282

## (2 前年度から変更・見直した点)

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## 令和6年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 39 その他修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
12 ATC・ATO試験装置保守委託事業	

## (1 事業目的・内容)

3000形車両用ATC・ATO試験器エーシング架の6年に1回の定期点検を委託して実施するものです。

当該試験装置は、3000形車両に搭載しているATC・ATO装置の法定定期検査や故障分析に使用しており、その十分な性能は適正な車両保守及び車両故障対応に必要です。この装置は定期的に保守点検を行わないと、試験装置としての精度を保つことが出来ません。本件はこの試験装置の性能を維持するために行うものです。



ATC・ATO試験器

点検周期表に基づき点検を実施します。

名称	型式等	数量	使用用途	点検周期	前回点検	設置場所	R4年度点検	R5年度点検	R6年度点検	R7年度点検
ATC試験器	C822476	1台	試験器の 性能維持	6年	R3年度	修繕工場	—	—	—	—
	C980742	1台			R4年度	新羽検車区	○	—	—	—
ATC/ATO試験器	PB0763	1台			R5年度	新羽検車区	—	○	—	—
	PB0764	1台			R3年度	上永谷検車区	—	—	○	—
ATO送受信器 試験器	RT1816A	1台			新規	新羽検車区	—	—	—	○
		1台			新規	上永谷検車区	—	—	○	—

## (2 前年度から変更・見直した点)

点検周期による

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

令和6年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 39 その他修繕費			担当者名: 熊谷

(単位:千円)

【 事業 内 容 】	6年度予算額
13 AB試験装置ほか保守委託事業	

(1 事業目的・内容)

上永谷車両基地に設備されているAB試験装置ほかは、重要部・全般保全検査に使用しています。これらの装置の性能、安全性及び寿命を維持する目的で、定期的(6年毎)にメンテナンスを行います。点検周期表に基づき計画的に保守を実施しており、点検周期となる年度において保守を行います。



AB試験装置



電磁弁試験機



高さ調整弁・差圧弁用試験機

名称	型式等	数量	使用用途	点検周期	前回点検	設置場所
AB試験装置	HRD-1	1式	重要部・全般保全検査、故障分析等	6年	H30年度	上永谷修繕工場
電磁弁試験機	MV-1					
高さ調整弁・差圧弁用試験機	LV-3. DP-3					

(2 前年度から変更・見直した点)

点検周期による

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)



## 令和6年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術) 担当者名: 巴

(単位:千円)

	6年度 A	5年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	48,970	22,369	26,601

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

(単位:千円)

【 事業内容 】	6年度予算額
1 材料調達事業	787

## (1 事業目的・内容)

川和車両基地に設置している、車体洗浄装置や車両管理システム等の車両検修設備に使用する交換部品及び消耗品を購入します。

## (2 前年度から変更・見直した点)

過去3年間(令和2年度から令和4年度)の契約実績金額の平均値を計上。

(単位:千円)

年度	実績金額	平均
令和2年度	1333	787
令和3年度	853	
令和4年度	174	

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## 令和6年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 39 その他修繕費			担当者名: 巴

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
2 車両検修設備保守委託事業	

## (1 事業目的・内容)

川和車両基地に設置している車両検修設備は車両の各種検査に使用しています。  
各種検修設備の性能、安全性及び寿命を維持するため、設備毎に点検周期を定め、計画的に点検及び保守作業を実施しています。

## (2 前年度から変更・見直した点)

各種設備の点検周期に基づき下記表のとおり点検を実施します。  
各種装置の単価は実績金額により積算しました。  
経年により交換が必要になった台車抜取装置制御盤のエンコーダの交換作業を含みます。

設備名称	点検周期	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
LIMギャップ測定装置	毎年	○	○	○	○	○
車両輪重測定装置	毎年	○	○	○	○	○
車体自動洗浄装置	2年	-	○	-	○	-
気吹き集じん装置	3年	-	○	-	-	○
台車抜取装置	3年	-	-	○	-	-
脱線復旧装置	3年	-	-	○	-	-
車輪転削盤	2年	○	-	○	-	○

## &lt;内訳&gt;

(単位:千円)

対象設備	金額
LIMギャップ測定装置	
車両輪重測定装置	
台車抜取装置	
脱線復旧装置	
車輪転削盤	
計	

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道車両整備実施基準第14条(静止輪重の管理)  
輪重比管理を適正に行うため、輪重測定装置の校正を定期的(毎年)行う必要がある。

## 令和6年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 39 その他修繕費			担当者名: 巴

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
3 車両移動機保守委託事業	

## (1 事業目的・内容)

川和車両基地に設置している車両移動機は車輪の転削作業等で車両を移動する際に使用しております。  
 車両移動機の性能、安全性及び寿命を維持するため、法令で定められた定期自主検査を行います。  
 ※検査周期: 毎年



30DR-2ST: 車両移動機

## (2 前年度から変更・見直した点)

無し

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

労働安全衛生規則第二百二十九条(定期自主検査)

事業者は、電気機関車等については、一年以内ごとに一回、定期的に、自主検査を行わなければならない。

## 令和6年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 39 その他修繕費			担当者名: 巴

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
4 クレーン定期自主検査事業	

## (1 事業目的・内容)

川和車両基地に設置しているクレーンは、車両検査時に車体や車両部品等を運搬するために使用しています。各種クレーンの性能、安全性及び寿命を維持するため、法令で定められた定期自主検査を行います。

対象設備	型式等	数量
天井クレーン	12t	2基
天井クレーン	1t	1基
橋形クレーン	2.8t	1基
スタッカークレーン	2.6t	1基

## (2 前年度から変更・見直した点)

無し

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

労働安全衛生法第45号の1、同法施行令第15条、クレーン等安全規則第34条(定期自主検査)  
1年以内に1回、また、1ヶ月以内ごとに1回、検査を行わなければならない。

## 令和6年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 39 その他修繕費			担当者名: 巴

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
5 フォークリフト等特定自主検査事業	

## (1 事業目的・内容)

川和車両基地で使用しているフォークリフト及び高所作業車等は、重量が大きな部品の運搬や、車両の車両屋根上を検査する際に使用します。各フォークリフト及び高所作業車の性能、安全性及び寿命を維持するため、法令で定められた特定自主検査を行います。

※検査周期: 毎年

対象設備	型式等	数量
バッテリーフォークリフト	1.5t	1台
バッテリーフォークリフト	3.0t	1台
高所作業車	0.41t	2台
バッテリー式運搬車	1.0t	1台

## (2 前年度から変更・見直した点)

無し

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

労働安全衛生規則第151条の24(フォークリフトの特定自主検査)及び194条の26(作業台付蓄電池車の特定自主検査)  
1年以内ごとに1回、検査を行わなければならない。

## 令和6年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 39 その他修繕費			担当者名: 巴

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
<b>6 車両管理システムウイルス対策ソフト更新業務委託事業</b>	

## (1 事業目的・内容)

川和車両基地に設置している車両管理システムは、車両の運用、検修設備、資材、図面等の管理を行っており、クライアントサーバシステムにより11台の端末とサーバで構成されています。  
情報セキュリティを確保するため、システム全体のウイルス対策用ソフトウェアの定期的な更新を行います。

## (2 前年度から変更・見直した点)

無し

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市交通局情報セキュリティ管理規程  
横浜市交通局情報セキュリティ管理要綱

## 令和6年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 39 その他修繕費			担当者名: 巴

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
7 その他修理事業	4,091

## (1 事業目的・内容)

川和車両基地に設置している車両検修設備及びコンプレッサー等、車両整備に使用する機器で発生した不具合箇所の修理を行います。  
 車両検修設備等は各種検査(全般、重要部、列車、月)で使用しております。  
 機器類が故障し、その機能が損なわれた場合、各検査工程に支障をきたす恐れがあるため、迅速な修理を実施する必要があります。  
 また、備品管理端末移設及び車両転削機の修理を実施します。

## (2 前年度から変更・見直した点)

・過去3年間の契約実績金額平均値を予算額としました。

年度	契約実績	実績平均
令和2年度	1,643	4,091
令和3年度	6,182	
令和4年度	4,449	

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

無し

## 令和6年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 車両課(技術)
節・細節: 39 その他修繕費			担当者名: 巴

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
<b>8 川和車両基地車輪転削盤計測装置修理事業</b>	
(1 事業目的・内容) 車輪転削機は、ブレーキなどでレールとの摩擦により摩耗した車輪を円形に削りなおす装置です。円形に削ることで、転がりやすくなることによる省エネルギー化、騒音の低減化を図っています。川和車両基地に設置されている車輪転削機は、グリーンライン専用の唯一の車輪転削機です。平成20年のグリーンライン開業以来、点検修理を行ってきましたが、15年が経過し老朽化が進んでおり、故障してからの全面改修には長期間使用不可能期間が発生します。計画的な使用を続けていくため、車輪転削前後の車輪形状を測定する計測装置の交換修理を行います。	
(2 前年度から変更・見直した点) 無し	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等) 無し	



## 令和6年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 上永谷保守管理所 担当者名: 野口

(単位:千円)

	6年度 A	5年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	269	102	167

<input type="radio"/>	ブルーライン
<input type="radio"/>	グリーンライン
<input type="radio"/>	共通

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	6年度予算額
1 上永谷検車区庁用車 車検・法定点検	160
(1 事業目的・内容)	
<p>応急車及び庁用車の法令に基づく車両検査を行うものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国土交通省令に基づく点検</li> <li>車検及び法定点検 1台(応急車1台)</li> </ul>	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	6年度予算額
2 上永谷検車区庁用車 修理費	10
(1 事業目的・内容)	
<p>庁用車を修理する費用。</p>	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	6年度予算額
3 上永谷検車区洗濯機・乾燥機 修理費	99
(1 事業目的・内容)	
<p>4～5年使用している洗濯機と乾燥機の故障時に修理する費用。</p> <p>洗濯機3台、乾燥機3台</p>	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	

## 令和6年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 新羽保守管理所 担当者名: 高橋

(単位:千円)

	6年度 A	5年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	220	210	10

<input type="radio"/>	ブルーライン
<input type="radio"/>	グリーンライン
<input type="radio"/>	共通

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
1 自動車点検整備 検車区	160
(1 事業目的・内容) 応急車の法令に基づく車両検査を行うものです。 国土交通省令に基づく点検 ・キャンター 800つ579 検査周期 6か月点検 12か月点検 車検 計 160 1年	
(2 前年度から変更・見直した点) なし	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額						
2 自動車修理 検車区	50						
(1 事業目的・内容) <table border="1"> <tr> <td>自動車修理</td> <td></td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>自動車修理</td> <td>随時</td> <td>50</td> </tr> </table>		自動車修理		計	自動車修理	随時	50
自動車修理		計					
自動車修理	随時	50					
(2 前年度から変更・見直した点) なし							
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)							

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額						
3 衣類乾燥機、洗濯機等の修理 検車区	10						
(1 事業目的・内容) <table border="1"> <tr> <td>衣類乾燥機、全自動洗濯機等の修理</td> <td></td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>衣類乾燥機、全自動洗濯機等の修理</td> <td>随時</td> <td>10</td> </tr> </table>		衣類乾燥機、全自動洗濯機等の修理		計	衣類乾燥機、全自動洗濯機等の修理	随時	10
衣類乾燥機、全自動洗濯機等の修理		計					
衣類乾燥機、全自動洗濯機等の修理	随時	10					
(2 前年度から変更・見直した点) なし							
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)							

## 令和6年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 30 車両保存費	所属: 川和保守管理所
節・細節: 39 その他修繕費			担当者名: 長谷川・高野

(単位:千円)

	6年度 A	5年度 B	増△減(A-B)
予算額	210	182	28

<input type="checkbox"/>	ブルーライン
<input type="checkbox"/>	グリーンライン
<input type="checkbox"/>	共通

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
1 自動車点検整備・修理	210
(1 事業目的・内容)	
<p>庁用車について、法令に基づく車両検査や法定点検の実施及び故障修理に必要な費用</p> <p>保有庁用車 デュトロ(800せ5623)</p>	
(2 前年度から変更・見直した点)	
なし	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	

令和6年度 経費 事業計画書

予 算 科 目		担 当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	所属: 人事課
目: 30 車両保存費		担当者名: 小泉

(単位:千円)

	6年度 A	5年度 B	増△減 A - B	
予算額	1,597	1,662	△ 65	

<input type="checkbox"/>	ブルーライン
<input type="checkbox"/>	グリーンライン
<input checked="" type="checkbox"/>	共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
50 被服費	1,597	制服貸与(地下鉄保守技術員《検車区》)
合 計	1,597	

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)

令和6年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費     項：01 営業費用 目：30 車両保存費	所属：人事課 担当者名：小泉

(単位:千円)

	6年度 A	5年度 B	増△減 A - B
予算額	310	310	0

<input type="checkbox"/>	ブルーライン
<input type="checkbox"/>	グリーンライン
<input type="checkbox"/>	共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
63 委託料	310	空気環境測定(上永谷検車区、上永谷修繕工場)ほか
合 計	310	

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)

# 令和6年度 経費 事業計画書

予 算 科 目		担 当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	所属: 人事課
目: 30 車両保存費		担当者名: 小泉

(単位:千円)

	6年度 A	5年度 B	増△減 A - B
予算額	343	343	0

<input type="checkbox"/>	ブルーライン
<input checked="" type="checkbox"/>	グリーンライン
<input type="checkbox"/>	共通

### 【積算内容】

#### (1 科目別積算内容)

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
49 備用品費	200	備品・消耗品(業務係)
63 委託料	143	空気環境測定(川和検修区)、身体機能検査(川和検修区)
合 計	343	

#### (2 編成するにあたっての考え方)

#### (3 新規項目・主要事業等)

令和6年度 経費 事業計画書

予 算 科 目		担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	所属: 安全教育センター
目: 30 車両保存費		担当者名: 岩澤

(単位:千円)

	6年度 A	5年度 B	増△減 A - B
予算額	649	931	△ 282

<input type="checkbox"/>	ブルーライン
<input type="checkbox"/>	グリーンライン
<input checked="" type="checkbox"/>	共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
49 備用品費	573	革手袋、信号炎管 等
57 通信運搬費	48	電話代
64 手数料	28	鉄道技術講座「安全の人間学概論」
合 計	649	

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)

令和6年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費      項：01 営業費用	所属： 車両課(技術)
目：30 車両保存費	担当者名： 熊谷

(単位:千円)

	6年度 A	5年度 B	増△減 A - B		
予算額	116,272	158,427	△ 42,155	<input type="radio"/>	ブルーライン
				<input type="radio"/>	グリーンライン
				<input type="radio"/>	共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
41 資産減耗費		ブルーライン車両廃車費用
49 備用品費	260	防菌防藻剤、光触媒スプレー、消火器
51 光熱水費	2,149	水道料金、ガス料金
56 旅費	210	定例出張旅費
57 通信運搬費	84	電話回線使用料
63 委託料	111,790	車両清掃、建物清掃、新羽車両清掃、産業廃棄物処理ほか
64 手数料	120	クレーン性能検査、危険物取扱者事前講習/資格試験
65 賃借料		複写サービス
合 計	116,272	

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)





### 令和6年度 経費 事業計画書

予 算 科 目		担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	所属: 電気課
目: 30 車両保存費		担当者名: 関口・成嶋

(単位:千円)

	6年度 A	5年度 B	増△減 A - B
予算額		229,281	

<input type="radio"/>	ブルーライン
<input type="radio"/>	グリーンライン
<input type="radio"/>	共通

#### 【積算内容】

##### (1 科目別積算内容)

節別科目名	積算額	積算項目
44 電力料		電気料金(基地内動力用、検車及び工場用)
合 計		

##### (2 編成するにあたっての考え方)

##### (3 新規項目・主要事業等)

令和6年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用	所属: 電気課
目: 30 車両保存費	担当者名: 関口・成嶋

(単位:千円)

	6年度 A	5年度 B	増△減 A - B
予算額		28,430	

	ブルーライン
<input type="radio"/>	グリーンライン
	共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
44 電力料		電気料金(基地内動力用、検車及び工場用)
合 計		

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)

### 令和6年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費      項：01 営業費用	所 属： 上永谷保守管理所
目：30 車両保存費	担 当 者 名： 野口

(単位:千円)

	6年度 A	5年度 B	増△減 A - B		
予算額	15,071	16,491	△ 1,420		○ ブルーライン
					グリーンライン
					共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積算額	積算項目
42 油脂系屑費	746	MC燃料(軽油)、保守用ウエス等
45 自動車燃料費		緊急自動車・庁用車用ガソリン及び軽油(軽油引取税)
49 備用品費	1,496	共通・小額物品、テキスト代、作業用雑貨・新採用備品、雪害対策用備品等
51 光熱水費	9,303	ガス料金、上・下水道料金
56 旅費	45	市内・市外出張旅費
57 通信運搬費	130	電話料金、切手代等
63 委託料	2,300	事務所清掃費、産業廃棄物処分費
64 手数料	209	各種技能・資格講習費、振込手数料、印紙代
65 賃借料	568	寝具賃借料、複写サービス
68 保険料		緊急自動車・庁用車任意保険料、自賠責保険料
73 自動車重量税	32	緊急自動車・庁用車自動車重量税
96 雑費	12	有料駐車場代
合 計	15,071	

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)

令和6年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費      項：01 営業費用	所属：新羽保守管理所
目：30 車両保存費	担当者名：高橋

(単位:千円)

	6年度 A	5年度 B	増△減 A - B	
予算額	10,670	9,474	1,196	○ ブルーライン
				グリーンライン
				共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
42 油脂系屑費	138	タオルウエス、軽油
45 自動車燃料費		庁用車用軽油
49 備用品費	2,145	小額物品、事務及び作業用備品、消耗品、工具類
51 光熱水費	4,281	ガス・上下水道使用料金
56 旅費	120	市外・市内出張、各種講習・研修
57 通信運搬費	62	電話料金、切手代
63 委託料	3,386	建物清掃、産業廃棄物処理委託
64 手数料	194	各種講習・研修受講料、庁用車車検印紙代
65 賃借料		複写サービス
68 保険料		庁用車自賠責・任意保険料
73 自動車重量税	13	庁用車重量税
96 雑費	5	有料駐車場利用料
合 計	10,670	

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)

## 令和6年度 経費 事業計画書

予 算 科 目		担 当
款：02 高速鉄道事業費	項：01 営業費用	所属：川和保守管理所
目：30 車両保存費		担当者名：長谷川・高野

(単位：千円)

	6年度 A	5年度 B	増△減 A - B	
予算額	12,695	11,956	739	ブルーライン
				○ グリーンライン
				共通

## 【積算内容】

## (1 科目別積算内容)

節別科目名	積算額	積算項目
42 油脂系屑費	737	潤滑油、軽油、ウエス
45 自動車燃料費		庁用車(1台)の燃料
49 備用品費	1,218	小額物品、共通物品等
51 光熱水費	5,387	水道代、白灯油
56 旅費	445	出張旅費
57 通信運搬費	156	電話料金、切手代等
63 委託料	4,020	建物清掃委託、産廃収集運搬及び処理等
64 手数料	169	各種講習会受講料及び各種免状交付料
65 賃借料	364	寝具及び複写機賃借料
68 保険料		庁用車自賠責保険料及び任意保険料
73 自動車重量税	32	庁用車自動車重量税
96 雑費	6	有料駐車場代
合 計	12,695	

## (2 編成するにあたっての考え方)

## (3 新規項目・主要事業等)